

一往直前

学力診断調査の傾向と来年度に向けた対策

学力診断調査が終わりました。今回のテストは1年のこれまで習った範囲がすべて出される実力調査でしたが、手ごたえはどうだったでしょうか？

学力診断調査は全県下で同一日に実施されていますが、中間、期末テストとは異なり、一般に考えられている「生徒の進路選択や成績に影響するテスト」ではありません。あくまでも、各教科担任にとっては日頃の指導における反省点を見つけ出すため、調査を受けた生徒にとって1年の既習内容がどれだけ定着しているか、得意分野・苦手分野は何かを見つけ出すために行われます。学校側も、このような対外テストの結果を基にした進路指導は控えなければならないことになっています。したがって、どの中学校も校内順位や平均点、度数分布などを公表しないで行っています。御理解ください。

ただ、毎回書いていますが、今回の結果を次に生かすことが大事です。そのため、教科担任側から見た今年度学力診断調査の傾向と来年度に向けた対策について書いてもらいました。普段行われる定期テストとは、今回の実力調査は取組の仕方や対策も変わってくることも多くあります。自分自身の結果を振り返り、どちらにも対応できるようにしていきたいですね。

なお、今年度最後のテストは、学年末テスト（2/18）です。2週間前は2/4ということになります。1年生の有終の美を飾れるように、意識して取り組みましょう。



1/13 学力診断調査：各教科担当からのコメント

教科	傾向・分析、アドバイスなど
国語	<p>言語事項や聞き取り問題は、ある程度の結果が出ている人がいましたが、「文章を読み解く」ことが不十分だったと思います。部分で抜き出すのか、文で抜き出すのか、よく考えないと余分なところまで書いてしまいます。抜き出しでは、正しく抜き出す、文末を設問に合わせることなど注意することがたくさんあります。</p> <p>文学的文章では、今回のように多くの人が出てくる場合があります。そんなときは簡単な図を書いてみるとよいでしょう。しっかり読まずに、自分で話を変えてしまう人もいました。</p> <p>大きなテストでは、「漢字の読み書き」「説明的文章」「文学的文章」「作文」が出題されます。これに加え、「韻文」「古典」が加わることもあります。時間配分を考えないと、時間が足りなくなってしまいます。時間を考えた上で、文章の内容を的確にとらえるには、やはり訓練が必要です。自分で決めた時間内に文章を読んで、時間内にワークをやってみてはどうでしょうか。「文章」を読むことに自分で考えながら読まなければいけません。</p>

<p>社 会</p>	<p>授業でグラフの描き方とグラフの読み取りについて行いましたが、それを生かして点数を取れた人が60%くらいだったでしょうか。学調のために、また2年後の入試のためにみんなで取り組んだことなので、間違えた人はやり直しをしないと非常にもったいないと思います。</p> <p>それから、全体的に文章で答える問題への対応が弱かったです。文章で答えるのは大変ですが、こちらでも授業で何度か練習はしました。めんどくさがらずにしっかりと取り組んで、身につけられるようにしてください。特に文章で答える問題は、今後どんどん増えていき、入試のときには約半数がこのような問題になります。それを見越してのアドバイスですので、人ごとと捉えず真剣に取り組ましましょう。</p>
<p>数 学</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2(3)のような比例式を解く問題では約分忘れが多く見られました。「約分はできるところまでやる」ということを徹底してください。 • 答え方に気をつけましょう。文字式の表し方にしがって式をかくようにしましょう。「$8 \times a + 4 \times b$」は「$8a + 4b$」というように文字と数の積の場合「\times」は省略します。 • -3^2と$(-3)^2$の違いは大丈夫ですか？この違いが分かっているかを確かめる問題は入試まで出題されます。覚えましょう。 • 「求め方」や「解き方」を重視して採点しています。答えがあっていたとしても、「求め方」や「解き方」が不明確なものは0点となっています。誰が読んでも分かるように解答してください。
<p>理 科</p>	<p>今回の学力調査は、1年生のこれまでの学習を振り返るには、とても良い機会だったのではないのでしょうか。例年に比べて、範囲も狭かったので、一つ一つの単元の問題の“密度”が高く、解き応えがあったのではないかと思います。中でも、まなぶさんとりかさんの会話から、物質の性質を問う大問3や、水族館にみられる動物について問う大問4などは、読解力や応用力が試されるような構成となっており、普段取り組んでいるワーク等の問題集では余り出会うことのない問題だったのではないのでしょうか。このような問題に取り組んでおくことも、これから実力を付けていくために大切になってきます。間違えてしまったところはきちんと振り返り、確認しておきましょう。</p>
<p>英 語</p>	<p>リスニング問題は、いつになく出来ていて良かったと思います。ただ、数字の区別があやふやな生徒が多いのが気になります。50と15や30と13の区別をしっかりと付けておきましょう。</p> <p>書く問題では、ごくごく基本的な問題が数多く出題されていて全体的にできが良かったです。例年定着の悪い3単現のsの問題ですが、studiesが出来ていたのは嬉しかったです。ただhaveをhasに変える変化はしっかり覚えましょう。</p> <p>また、自分のことや家族のことを紹介する英作文では、2学期中にたくさん授業中で行っていたので大変よく書けていました。これからは動詞を色々な動詞を使って書くというように一歩レベルを上げた英作文を書くことが出来るように挑戦していきましょう。</p> <p>今回高得点を取ることが出来たと浮かれるのではなく、「簡単だったんだ・・・」という気持ちに立って、学年末に向かって日々努力を重ねることをやって欲しいと思います。</p>

1年百人一首大会の様子

先日1月8日（金）に、1年百人一首大会を行いました。ここ数年、豊田中の各学年で好例となっていて、今回は1～4組の国語教科担任である中村典子先生による詠みで、各クラスの同じ出席番号の人たちで対戦をしました。冬休みに予告してあったため、完璧に札を暗記していた人もいたり、映画『ちはやふる』を見て影響を受けている人がいたりして、大いに盛り上がりました。1時間半の中で100首全部詠み終わり、充実した活動になりました。以下はその様子です。

